

1 (1) (解答) (ア) 8 (イ) $\sqrt{(\text{ウ})}$ $4\sqrt{6}$ (エ) 8 (オ) 6

(2) (解答) (アイウ) 720 (エ) 5 (オカキクケ) 40320

(3) (解答) (ア) 4 (イ) 2 (ウ) 2 (エ) 6 (オ) $\frac{2}{3}$ (キ) $\frac{5}{6}$
 (カ) $\frac{2}{3}$ (ク) $\frac{5}{6}$

$$\frac{(\text{ケ})}{(\text{コ})} = \frac{4}{3}$$

(1) O_1 と O_2 が互いに外部にあるから $d > 5 + 3$

すなわち $d > 8$

$d = 10$ のとき, O_2 から AO_1 に垂線 O_2H を下ろすと,

四角形 AHO_2B は長方形となるから $AB = HO_2$

ここで, $\triangle O_1O_2H$ において, 三平方の定理により

$$HO_2^2 = O_1O_2^2 - HO_1^2 = d^2 - (5 - 3)^2 = 10^2 - 2^2 = 96$$

$HO_2 > 0$ であるから $HO_2 = 4\sqrt{6}$

したがって $AB = 4\sqrt{6}$

また, 四角形 CDO_2E も長方形であるから $CD = EO_2$

ここで $O_1E = O_1C + CE = O_1C + DO_2 = 5 + 3 = 8$

よって, $\triangle O_1O_2E$ において, 三平方の定理により

$$EO_2^2 = O_1O_2^2 - O_1E^2 = 10^2 - 8^2 = 36$$

$EO_2 > 0$ であるから $EO_2 = 6$ したがって $CD = 6$

(2) $(3x + 2y)^5$ の展開式における一般項は

$${}_5C_r (3x)^{5-r} (2y)^r = {}_5C_r 3^{5-r} 2^r x^{5-r} y^r$$

$x^2 y^3$ となるのは $r = 3$ のときで, その係数は

$${}_5C_3 \cdot 3^2 \cdot 2^3 = 10 \cdot 9 \cdot 8 = 720$$

$\{(3x + 2y) + z\}^8$ を展開したとき, z^3 の項をまとめると

$${}_8C_3 (3x + 2y)^{8-3} z^3 = {}_8C_5 (3x + 2y)^5 z^3$$

で表される。

$(3x + 2y)^5$ の展開式で $x^2 y^3$ の係数は 720 であるから, $\{(3x + 2y) + z\}^8$ の展開式で $x^2 y^3 z^3$ の係数は

$${}_8C_5 \times 720 = 56 \times 720 = 40320$$

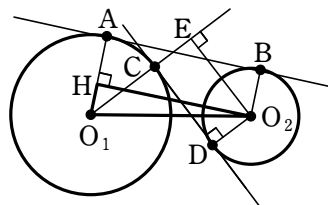
(別解) $(3x + 2y + z)^8$ の展開式の一般項は

$$\frac{8!}{p!q!r!} (3x)^p (2y)^q z^r = \frac{8!}{p!q!r!} 3^p 2^q x^p y^q z^r$$

$x^2 y^3 z^3$ となるのは $p = 2, q = 3, r = 3$ のときで, その係数は

$$\frac{8!}{2!3!3!} \cdot 3^2 \cdot 2^3 = 560 \cdot 9 \cdot 8 = 40320$$

(3) 与えられた不等式から $2\sin x \cos x > \sqrt{2} \left(\cos x \cos \frac{\pi}{4} - \sin x \sin \frac{\pi}{4} \right) + \frac{1}{2}$



よって $2\sin x \cos x > \cos x - \sin x + \frac{1}{2}$

$a = \sin x, b = \cos x$ とおくと $2ab > b - a + \frac{1}{2}$

すなわち ${}^{\text{ア}}4ab + {}^{\text{イ}}2a - {}^{\text{ウ}}2b - 1 > 0$

$$4ab + 2a - 2b - 1 = 2a(2b + 1) - (2b + 1) \\ = (2a - 1)(2b + 1)$$

したがって $(2a - 1)(2b + 1) > 0$

よって $\begin{cases} 2a - 1 > 0 \\ 2b + 1 > 0 \end{cases}$ または $\begin{cases} 2a - 1 < 0 \\ 2b + 1 < 0 \end{cases}$

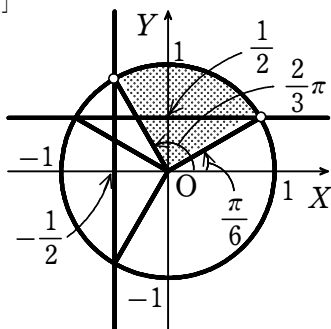
ゆえに $a > \frac{1}{2}$ かつ $b > -\frac{1}{2}$ ……① または $a < \frac{1}{2}$ かつ $b < -\frac{1}{2}$ ……②

$0 \leq x < 2\pi$ において、①を満たす x の範囲は、図[1]より $\frac{\pi}{6} < x < \frac{2}{3}\pi$

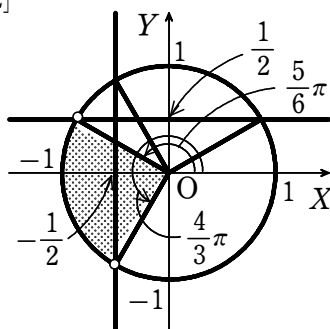
②を満たす x の範囲は、図[2]より $\frac{5}{6}\pi < x < \frac{4}{3}\pi$

よって、求める x の範囲は $\frac{\pi}{6} < x < \frac{2}{3}\pi$ または $\frac{5}{6}\pi < x < \frac{4}{3}\pi$

[1]



[2]



2 [解答] (ア) 3 (イ) $\frac{7}{4}$ (エ) 2 $\sqrt{(\text{オ})}$ $\sqrt{3}$ (カ) 0 (キ) $\frac{1}{4}$

(ケ) $\frac{\sqrt{(\text{コ})}}$ $\frac{5\sqrt{3}}{4}$ (ク) $\frac{\sqrt{(\text{シ})}}$ $\frac{\sqrt{3}}{4}$ (ケ) $\frac{\sqrt{(\text{セ})}}$ $\frac{\sqrt{3}}{8}$

$|\vec{a}| = 2, |\vec{b}| = 3, \angle AOB = 60^\circ$ から

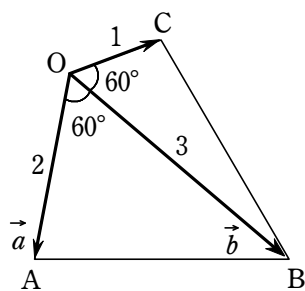
$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos 60^\circ = 2 \cdot 3 \cdot \frac{1}{2} = {}^{\text{ア}}3$$

$\vec{PA} \cdot \vec{PB} = \frac{5}{4}$ ……① から

$$(\vec{a} - \vec{p}) \cdot (\vec{b} - \vec{p}) = \frac{5}{4}$$

ゆえに $|\vec{p}|^2 - (\vec{a} + \vec{b}) \cdot \vec{p} + \vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{5}{4}$

$\vec{a} \cdot \vec{b} = 3$ を代入して $|\vec{p}|^2 - (\vec{a} + \vec{b}) \cdot \vec{p} + 3 = \frac{5}{4}$



よって、①は $|\vec{p}|^2 - (\vec{a} + \vec{b}) \cdot \vec{p} + \frac{7}{4} = 0$

さらに、変形して $\left| \vec{p} - \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \right|^2 - \frac{|\vec{a} + \vec{b}|^2}{4} + \frac{7}{4} = 0 \dots\dots ②$

ここで $|\vec{a} + \vec{b}|^2 = |\vec{a}|^2 + 2\vec{a} \cdot \vec{b} + |\vec{b}|^2 = 4 + 2 \cdot 3 + 9 = 19 \dots\dots ③$

ゆえに、②から $\left| \vec{p} - \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \right|^2 - \frac{19}{4} + \frac{7}{4} = 0$

よって $\left| \vec{p} - \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \right|^2 = 3$

$\left| \vec{p} - \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \right| > 0$ であるから $\left| \vec{p} - \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \right| = \sqrt{3}$

したがって、点 M を $\overrightarrow{OM} = \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2}$ となるように定めると、点 P は、M を中心とする半径 $\sqrt{3}$ の円周上を動く。

$\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とおくと、 $|\vec{c}| = 1$ 、 $\angle BOC = 60^\circ$ から

$$\vec{b} \cdot \vec{c} = |\vec{b}| |\vec{c}| \cos 60^\circ = 3 \cdot 1 \cdot \frac{1}{2} = \frac{3}{2}$$

$$\vec{a} \cdot \vec{c} = |\vec{a}| |\vec{c}| \cos 120^\circ = 2 \cdot 1 \cdot \left(-\frac{1}{2}\right) = -1$$

$\overrightarrow{OC} \perp \overrightarrow{MH}$ より、 $\overrightarrow{OC} \cdot \overrightarrow{MH} = 0$ であるから

$$\overrightarrow{OC} \cdot (\overrightarrow{OH} - \overrightarrow{OM}) = 0$$

すなわち $\vec{c} \cdot \left(t\vec{c} - \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \right) = 0$

よって $t|\vec{c}|^2 - \frac{1}{2}(\vec{a} \cdot \vec{c} + \vec{b} \cdot \vec{c}) = 0$

ゆえに $t \cdot 1^2 - \frac{1}{2} \left(-1 + \frac{3}{2} \right) = 0$

これを解いて $t = \frac{1}{4}$

よって $|\overrightarrow{OH}| = \frac{1}{4} |\vec{c}| = \frac{1}{4}$

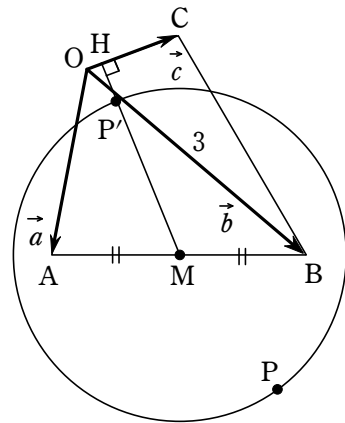
また、③から $|\overrightarrow{OM}| = \left| \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} \right| = \frac{|\vec{a} + \vec{b}|}{2} = \frac{\sqrt{19}}{2}$

直角三角形 OMH において、三平方の定理により

$$|\overrightarrow{MH}| = \sqrt{\left(\frac{\sqrt{19}}{2}\right)^2 - \left(\frac{1}{4}\right)^2} = \sqrt{\frac{75}{16}} = \frac{5\sqrt{3}}{4}$$

M を中心とする半径 $\sqrt{3}$ の円と直線 MH の交点のうち、H に近い方を P' とすると、点 P と直線 OC の距離が最小になるのは、P が P' と一致するときである。

よって、点 P と直線 OC の距離の最小値は



$$P'H = MH - MP' = \frac{5\sqrt{3}}{4} - \sqrt{3} = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

したがって、 $\triangle OCP$ の面積の最小値は

$$\frac{1}{2} \cdot OC \cdot P'H = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot \frac{\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{8}$$

別解 $|\overrightarrow{MH}|$ の求め方

$$\overrightarrow{MH} = \frac{\vec{c}}{4} - \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2} = -\frac{2\vec{a} + 2\vec{b} - \vec{c}}{4} \text{ であるから}$$

$$\begin{aligned} |\overrightarrow{MH}|^2 &= \left| \frac{2\vec{a} + 2\vec{b} - \vec{c}}{4} \right|^2 \\ &= \frac{1}{16} (4|\vec{a}|^2 + 4|\vec{b}|^2 + |\vec{c}|^2 + 8\vec{a} \cdot \vec{b} - 4\vec{b} \cdot \vec{c} - 4\vec{a} \cdot \vec{c}) \\ &= \frac{1}{16} (16 + 36 + 1 + 24 - 6 + 4) = \frac{75}{16} \end{aligned}$$

$$|\overrightarrow{MH}| > 0 \text{ であるから } |\overrightarrow{MH}| = \sqrt{\frac{75}{16}} = \frac{5\sqrt{3}}{4}$$

3 **解答** (ア) 2 (イ) 2 (ウ) 3 (エ) 2 (オ) 2 (カキ) -2 (ク) 2
 (ケコ) -2 (サ) 2 (シ) 0 (ス) 0 $\frac{(\text{セ})}{(\text{ソ})} \frac{1}{3}$ $\frac{(\text{タ})}{(\text{チツ})} \frac{1}{27}$
 (テ) 3 (ト) 0 $\frac{(\text{ナ})}{(\text{ニ})} \frac{4}{9}$ (ヌ) 4 (ネノ) 10

$g(x) = x^3$, $h(x) = x^2 + px + q$ とする。

(1) $g'(x) = 3x^2$ であるから、点 $P(a, a^3)$ における C の接線の方程式は

$$y - a^3 = 3a^2(x - a)$$

$$\text{すなわち } y = 3a^2x - 2a^3$$

$$D \text{ が点 } P \text{ を通るから } a^3 = a^2 + pa + q \quad \cdots \cdots (*)$$

また、 D の P における接線と、 C の P における接線が一致するから、

$$h'(x) = 2x + p \text{ より } 2a + p = 3a^2$$

$$\text{ゆえに } p = 3a^2 - 2a$$

$$\text{これを } (*) \text{ に代入して } a^3 = a^2 + (3a^2 - 2a) \cdot a + q$$

$$\text{よって } q = -2a^3 + a^2$$

(2) D が点 $Q(0, b)$ を通るから

$$b = q = -2a^3 + a^2 \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$f(x) = -2x^3 + x^2$ について

$$f'(x) = -6x^2 + 2x = -2x(3x - 1)$$

$$f'(x) = 0 \text{ とすると } x = 0, \frac{1}{3}$$

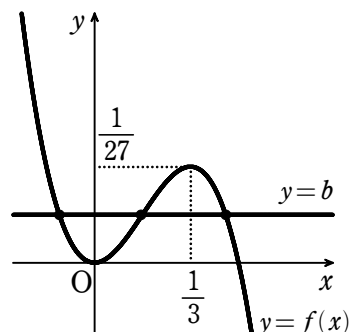
$$f(0) = -2 \cdot 0^3 + 0^2 = 0,$$

$$f\left(\frac{1}{3}\right) = -2 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^3 + \left(\frac{1}{3}\right)^2 = \frac{1}{27}$$

x^3 の係数が負であるから、 $y=f(x)$ のグラフは右の図のようになる。

したがって、関数 $f(x)$ は $x=0$ で極小値 0 をとり、

$x=\frac{1}{3}$ で極大値 $\frac{1}{27}$ をとる。



②を満たす a の値の個数は、曲線 $y=f(x)$ と直線 $y=b$ の共有点の個数と一致する。

よって、図から、 $0 < b < \frac{1}{27}$ のとき、②を満たす a の値の個数は 3 である。

(3) 放物線 $y=x^2+(3a^2-2a)x-2a^3+a^2$ の頂点が x 軸上にあるための条件は、2次方程式 $x^2+(3a^2-2a)x-2a^3+a^2=0$ …… ③ が重解をもつことである。

すなわち、③の判別式が 0 になるときである。

$$\text{よって } (3a^2-2a)^2-4 \cdot (-2a^3+a^2)=0$$

$$\text{すなわち } a^3(9a-4)=0 \quad \text{ゆえに } a=0, \frac{4}{9}$$

D の頂点が x 軸上にあるとき、その方程式は $y=\left(x+\frac{3a^2-2a}{2}\right)^2$ となる。

$$a=0 \text{ のとき } \frac{3a^2-2a}{2}=0$$

よって、 D_1 の方程式は $y=x^2$

$$a=\frac{4}{9} \text{ のとき } \frac{3a^2-2a}{2}=\frac{1}{2}\left\{3 \cdot \left(\frac{4}{9}\right)^2-2 \cdot \left(\frac{4}{9}\right)\right\}=-\frac{4}{27}$$

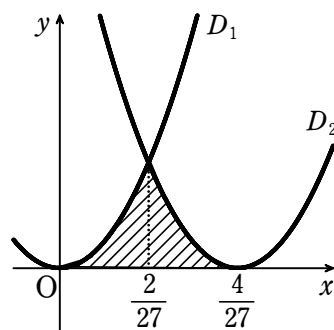
よって、 D_2 の方程式は $y=\left(x-\frac{4}{27}\right)^2$

ゆえに、 D_1 、 D_2 と x 軸で囲まれた図形は、右の図の斜線部分である。

この図形は直線 $x=\frac{2}{27}$ に関して対称である。

よって、求める図形の面積は

$$\begin{aligned} 2 \int_0^{\frac{2}{27}} x^2 dx &= 2 \left[\frac{1}{3} x^3 \right]_0^{\frac{2}{27}} = \frac{2}{3} \times \left(\frac{2}{27} \right)^3 \\ &= \frac{2}{3} \times \left(\frac{2}{3^3} \right)^3 = \frac{2^4}{3^4} \end{aligned}$$



4 解答 (ア) 2 (イ) 5 (ウ) 3 (エ) 0 (オ) 1 (カキ) -7

$$\begin{array}{r} x+m+2 \\ x^2-2x-1 \overline{) x^3+mx^2 \quad +nx+2m+n+1} \\ \underline{x^3-2x^2 \quad -x} \\ (m+2)x^2+(n+1)x+2m+n+1 \\ \underline{(m+2)x^2-2(m+2)x-m \quad -2} \\ (2m+n+5)x+3m+n+3 \end{array}$$

この計算から $Q = x + (m + \text{ア}2)$

$$R = (2m + n + \text{イ}5)x + (3m + n + \text{ウ}3)$$

$x = 1 + \sqrt{2}$ のとき $x - 1 = \sqrt{2}$

両辺を2乗して $(x-1)^2 = 2$ よって $x^2 - 2x - 1 = 0$

ゆえに、 B の値は $\text{エ}0$

$A = BQ + R$ で、 $x = 1 + \sqrt{2}$ のとき $B = 0$ 、 $A = -1$ であるから

$$-1 = 0 \cdot \{(1 + \sqrt{2}) + (m + 2)\} + (2m + n + 5)(1 + \sqrt{2}) + (3m + n + 3)$$

整理すると $(5m + 2n + 9) + (2m + n + 5)\sqrt{2} = 0$

m, n はともに有理数であるから、 $5m + 2n + 9$ 、 $2m + n + 5$ も有理数。

よって $5m + 2n + 9 = 0$ 、 $2m + n + 5 = 0$

これを解くと $m = \text{オ}1$ 、 $n = \text{カキ}-7$

5 解答 (ア) 1 (イウ) $\frac{-5}{4}$ (オ) 2 (カキ) $\frac{-5}{4}$ (ケコ) -1

$\cos \theta = t$ とおくと、 $0 \leq \theta < 2\pi$ から $-1 \leq t \leq 1$

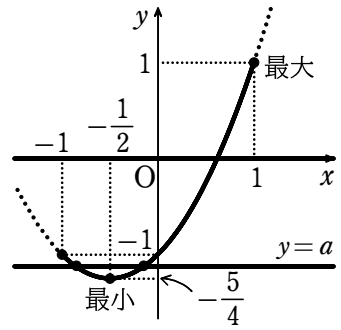
$$f(\theta) = t^2 + t - 1 = t^2 + t + \left(\frac{1}{2}\right)^2 - \left(\frac{1}{2}\right)^2 - 1$$

$$= \left(t + \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{5}{4}$$

右のグラフより、 $f(\theta)$ は

$t = 1$ のとき最大値 $\text{ア}1$

$t = -\frac{1}{2}$ のとき最小値 $\frac{\text{イウ}-5}{\text{エ}4}$ をとる。



ここで、 $\cos \theta = \alpha$ を満たす θ ($0 \leq \theta < 2\pi$) の個数を考える。

$-1 < \alpha < 1$ のとき θ は2個

$\alpha = \pm 1$ のとき θ は1個 存在する。

$\alpha = 0$ のとき、グラフより、 $f(\theta) = 0$ の解 t は、 $-1 < t < 1$ の範囲に1つ存在する。

したがって、解 θ は $\text{オ}2$ 個

また、方程式が4つの解をもつのは、 $y = t^2 + t - 1$ のグラフと直線 $y = a$ が $-1 < t < 1$ の範囲で異なる2つの共有点をもつときである。

したがって、グラフより $\frac{\text{カキ}-5}{\text{ケ}4} < a < \text{ケコ}-1$

6 解答 (1) 15 (2) 816 (3) 2047

(1) m 個の \bigcirc を 1 列に並べて、 \bigcirc と \bigcirc の間の $(m-1)$ か所から $(n-1)$ 個を選んで仕切り $|$ を入れ、左から順に仕切りで区切られた \bigcirc の数をそれぞれ、自然数の列の数とすると、自然数の列が 1 つ決まる。

逆に、この \bigcirc と $|$ の列から自然数の列がすべて得られる。

例えば、7 個の \bigcirc の間に、右の図のように 2 つの仕切り $\bigcirc | \bigcirc \bigcirc \bigcirc | \bigcirc \bigcirc$
り $|$ を入れたとき、自然数の列は 1, 4, 2 となる。

よって $f(7, 3) = {}_{7-1}C_{3-1} = {}_6C_2 = 15$

(2) (1) と同様に考えて $f(19, 4) = {}_{19-1}C_{4-1} = {}_{18}C_3 = 816$

(3) (1) と同様に考えて $\sum_{k=1}^{11} f(12, k) = \sum_{k=1}^{11} {}_{11}C_{k-1} = {}_{11}C_0 + {}_{11}C_1 + \cdots + {}_{11}C_{10}$

ここで、二項定理により $(1+x)^{11} = {}_{11}C_0 + {}_{11}C_1x + \cdots + {}_{11}C_{10}x^{10} + {}_{11}C_{11}x^{11}$

この等式で、 $x=1$ とおくと $(1+1)^{11} = {}_{11}C_0 + {}_{11}C_1 + \cdots + {}_{11}C_{10} + {}_{11}C_{11}$

よって $\sum_{k=1}^{11} f(12, k) = 2^{11} - {}_{11}C_{11} = 2048 - 1 = 2047$